

サンクスギビング特別集会メッセージアウトライン

(2016年11月24日ー27日)

主題：今日の主の行動の方向

2016年サンクスギビング特別集会標語

わたしたちは宇宙的なクリスチャンになって、キリストの宇宙的で、奥義的なからだの宇宙的な観点を持つ必要があります。キリストのからだは、宇宙的で、すべてを含み、無限に拡張する、すべての中ですべてを満たしているキリストの表現です。

一人の新しい人としてキリストのからだは、キリストご自身の中で彼の死と復活を通して創造された神の傑作、神の詩であり、神の無限の知恵と神聖な設計を表現します。

小羊の婚姻は、神の新約エコノミーの完成の結果です。神の新約エコノミーは、キリストの法理的な贖いを通して、彼の神聖な命における有機的な救いによって、キリストのために花嫁、すなわち召会を得ることです。

もし、わたしたちが主イエスに対して深く優しい愛を持つなら、わたしたちの舌は速やかに物書く人の筆となって、彼の満ち満ちた務めにおいて彼であるすべてにしたがって、彼に対するわたしたちの経験と享受をもって、彼に対するわたしたちの愛と賛美を速やかに書くでしょう。

神の王国は、命の種としてのキリストご自身が、神の選ばれた民の中へとまかれて、領域へと発展することです。神はその領域を彼の王国として、彼の神聖な命の中で支配し、増し加わって、拡張された王国となることができます。それは、主が彼の再来の時にもたらずものです。

召会の建造は、三つのかぎを活用することを通して、ハデス [陰府] の門を閉じることにかかっています。わたしたちは自己を否むというかぎを活用することを学ぶ必要があります。わたしたちは十字架を負うというかぎを活用することを学ぶ必要があります。わたしたちは魂の命を失うというかぎを活用することを学ぶ必要があります。

キリストの有機的なからだの内在的な建造 (1)

神のエコノミーの目標としての

キリストの宇宙的なからだのビジョンによって支配される

聖書：エペソ 1:22-23. 2:21-22. 3:19. 4:10, 12, 16. コロサイ 2:19. 3:15. 啓 21:10

- I. 今日の主の行動の方向は、キリストの有機的なからだを建造し、神聖な三一における手順を経て分与する神の有機体とならせ、彼を完全に表現することです——エペソ 4:12, 16 :
- A. この有機的なからだは、キリストご自身に満ちており、命を与える霊としてのご自身をもって建造されます。この霊は、キリストのからだの本質また実際です——コロサイ 3:11. エペソ 4:4。
- B. そのようなからだは、手順を経て究極的に完成された三一の神の有機体となります。この三一の神は神聖な三一においてご自身を分与し、キリストのからだに有機的に浸透して、宇宙における彼の満ち満ちた表現とならせませす——ヨハネ 15:1, 5, 8 前半. II コリント 13:14. エペソ 3:19。
- II. キリストのからだは、三一の神とキリストにある信者たちとの神聖な構成です——エペソ 4:4-6 :
- A. 父、子、霊、人はブレンディングされ共に建造されて、キリストのからだとなります——1:23. 4:12, 16。
- B. からだの建造は、神の霊と人の霊の中にある三一の神と三部分から成る人の構成です——I コリント 6:17. ローマ 8:16 :
1. この構成は、神と人の結合、ミングリング、合併です——ヨハネ 14:20。
 2. そのような構成は、神性が人性の中へと構成されて、人の住まいとなるという事柄であり、また人性が神性の中へと建造されて、神の住まいとなるという事柄です——エペソ 3:16-17. 2:21-22. ヨハネ 14:23. 啓 21:2-3, 22。
- C. キリストのからだは有機体であり、神性と人性を持ち、キリストを表現します——ヨハネ 15:1. エペソ 1:23. 3:19-21。
- III. 神のエコノミーは、彼の御子のためにからだを生み出すことです。このからだは、神を表現しサタンを破壊するという神の願いを実現します——ローマ 12:4-5. I コリント 12:12, 27. エペソ 1:22-23. 4:4, 16. コロサイ 1:18. 2:19. 創 1:26-28 :
- A. わたしたちの中での三一の神の働きは、キリストのからだを生み出し建造することです——エペソ 3:16-21. ローマ 8:11. 12:4-5。
- B. 新契約の務めは、キリストのからだを生み出すためです。新契約の務めがないなら、キリストのからだを生み出すことは不可能です——I コリント 12:12-27. II コリント 3:6, 8-9. 4:1. 5:18。
- C. からだは召会の内在的な意義です。からだがなければ、召会は意味をなさず、意義がありません——ローマ 12:4-5. 16:1. I コリント 1:2. 12:12-13, 27。
- D. 今日、召会におけるすべての問題は、からだに対する無知のゆえです。最大の問題、唯一の問題は、からだを認識せず、からだを顧慮せず、からだを尊ばないことです

——エペソ 1:17-23. I コリント 12:24-27。

E. からだを認識することは、主の正常な回復です。主はキリストのからだと、からだの一を回復することを願っています——エペソ 1:23. 4:4。

F. 主は地上で緊急の必要を持っています。彼は、キリストのからだの実際が諸地方召会の中で表現されることを願っています——ローマ 12:4-5. 16:16. I コリント 1:2. 12:27 :

1. 主が今日、求めているのは、地方の立場の諸召会（一つの地方に一つの召会）だけではなく、豊満としてのからだでもあります——エペソ 1:23. 3:19。

2. からだの具体的な表現がないなら、主イエスは戻って来ないでしょう—— 1:23. 4:16. 5:27, 30. 啓 19:7。

IV. からだは、神の子供たちの生活と働きを支配する法則です——エペソ 4:4, 16. I コリント 12:4-6, 12-13, 27 :

A. 召会、務め、働きはすべて、からだの立場の上にあります——エペソ 1:23. 4:16. コロサイ 3:15 :

1. 諸召会は地方において表現されたからだであり、務めは機能におけるからだであり、働きは拡張を求めるからだです——使徒 13:1-2. 21:19。

2. 召会は縮図におけるからだの生活であり、務めは奉仕におけるからだの機能であり、働きは成長におけるからだの伸展です—— I コリント 1:2. 12:27. 16:10. II コリント 3:6。

B. 召会、務め、働きは、からだにその存在の源があり、からだの中にその地位があり、からだの益のために働きます——ローマ 12:4-5. コロサイ 2:19. 3:15 :

1. この原則の重要性は強調しても、強調しすぎることはありません。なぜなら、この原則がなければ、すべては人工のものであり、神の創造されたものではないからです。

2. もしからだに対する関係とその肢体相互間の関係という原則が認められていなければ、召会、務め、働きはあり得ません。

V. 主の回復は、キリストがただ一つのからだを持っているという真理に基づいています——エペソ 1:23. 4:4 :

A. 一つのからは神の一つの召会であり、多くの地方で諸地方召会として現されます—— I コリント 10:32 後半. 啓 1:4, 11。

B. 主の回復は、キリストのからだを建造するためです。回復はからだのためであって、どの個人のためでも、あるいは単にどの個別の地方召会のためでもありません——エペソ 4:16. コロサイ 2:19。

C. わたしたちの考慮において、からだが第一であるべきであり、地方召会は第二であるべきです——マタイ 16:18. 18:17. エペソ 2:21-22。

D. キリストのからは神のエコノミーの目標であり、諸地方召会は、神が彼のエコノミーの目標に到達するために用いる手続きです—— I コリント 12:12-13. 1:2. ローマ 12:4-5. 16:1, 4-5, 16 後半。

E. すべての地方召会は、宇宙におけるキリストの唯一のからだです——エペソ 4:4 :

1. それぞれの地方召会は、キリストの唯一の宇宙的なからだの一部、すなわち、

からだの地方的な表現です—— I コリント 1:2. 12:27。

2. 宇宙的に、すべての地方召会の一つからだであり、地方的に、それぞれの地方召会が宇宙的なからだの地方的な表現です——ローマ 12:4-5. 16:1, 16。
3. 宇宙的なキリストは、それぞれの地方召会にご自身の一部分を持っています。それぞれの地方召会はキリストの一部であり、このすべての部分がからだを構成します——エペソ 1:23. 2:21-22。

VI. わたしたちは宇宙的なクリスチャンになって、キリストの宇宙的なからだの宇宙的な観点を持つ必要があります——エペソ 1:17-23. 4:16. 啓 21:10 :

A. キリストのからだは、宇宙的で、すべてを含み、無限に拡張するキリストの奥義的なからだです——エペソ 1:22-23. 3:19. コロサイ 3:11 :

1. キリスト、かしらは、すべての天の上よりもはるかに高く昇りました。わたしたちはこのキリストの奥義的なからだ、豊満です——エペソ 1:22-23. 3:19. 4:10。
2. からだは、すべてのものを満たしているキリストの豊満、表現です—— 1:22-23. 4:10 :

a. キリストは召会に対して万物の上のかしらであり、召会はこの宇宙的なキリストのからだであり、この宇宙的なキリストのからだはすべての中ですべてを満たしている方の豊満です—— 1:23。

b. キリストご自身は宇宙的に広大で、宇宙的に拡張しており、からだはこの宇宙的に広大で拡張するキリストの豊満です。これは、からだも宇宙的であることを意味します—— 3:18-19. 4:16。

c. エペソ第 4 章 10 節は言います、「下って行かれた方は、すべてのものを満たすために、すべての天よりもはるかに高く昇られた方でもあります」:

(1) 「すべてのもの」は確かに、全宇宙を包括していなければなりません。

(2) キリストの下って行ったことと昇ったことの結果は、彼がすべてのもの、すなわち全宇宙を満たすことです。

B. 宇宙的なクリスチャンは、エペソ第 1 章 22 節から 23 節と第 4 章 10 節で提示された宇宙的な観点を持っている人です:

1. わたしたちはからだの見方を持っていても、わたしたちの見方は、キリストのからだの宇宙的な見方に比較して、あまりにも小さいかもしれません—— 1:23。
2. わたしたちは、小さく偏狭な自己から出て来て、一種の狂喜の中において、キリストの宇宙的なからだ、すなわち、宇宙的な、無限のキリストの豊満、表現を見てそれに触れる必要があります—— 3:19。

3. わたしたちは、キリストの宇宙的なからだの広大さのビジョンによって、圧倒される必要があります——啓 21:10 :

a. ヨハネが、霊の中で高い山へ連れて行かれ、新エルサレムを見たように、わたしたちは霊の中で「高い山」へ連れて行かれ、キリストの宇宙的なからだの宇宙的な観点を持つ必要があります—— 10 節. エペソ 1:22-23。

b. わたしたちの霊の中で、わたしたちは宇宙的なからだの観点を持つ必要があります。それは、かつてキリストのからだに関してわたしたちの思いの中へと入ったどんなものよりも、無限に大きいのです—— 17-23 節. 啓 21:10。

4. 神のエコノミーの目標は、キリストの宇宙的なからだを建造することであり、そのような宇宙的なからだは新エルサレムにおいて究極的に完成します——エペソ 1:22-23, 4:12, 16, 啓 21:2, 10。

© 2016 *Living Stream Ministry*